

令和7年4月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年4月分について、輸出額は「自動車」「電気回路等の機器」などが増加したことから、対前年同月比2.4%の増加となった。輸入額は「アルミニウム及び同合金」などが増加したものの、「原粗油」などが減少したことから、同5.3%の減少となった。

その結果、差引額は7,690億円（同9.9%の増加）となった。

名古屋港における輸出額及び差引額は、4月として過去最高。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降167カ月（13年11カ月）連続全国港別（空港含む）第1位。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

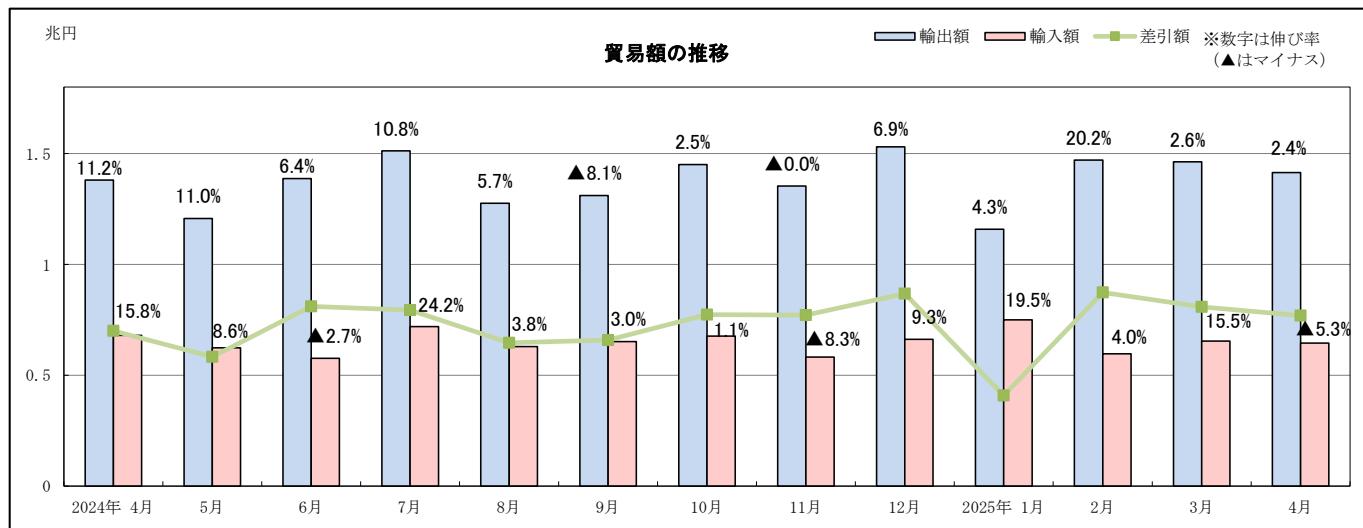
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆4,137億円	+2.4%	6,447億円	▲5.3%	7,690億円	+9.9%
	5カ月連続の増加			5カ月ぶりの減少		
	順位 過去10位	4月として1位	順位 過去14位	4月として2位	順位 過去12位	4月として1位
管内（名港シェア）	2兆2,025億円 (64.2%)		1兆1,968億円 (53.9%)		1兆0,057億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆1,572億円 (15.4%)		9兆2,730億円 (7.0%)		▲1,158億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増(1)	自動車	4,360億円	+5.3%	+1.6	7カ月連続の増加
出加(2)	電気回路等の機器	304億円	+18.7%	+0.3	5カ月連続の増加
輸入増(1)	アルミニウム及び同合金	314億円	+25.9%	+1.0	6カ月連続の増加
減少(1)	原粗油	453億円	▲50.5%	▲6.8	3カ月ぶりの減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。